（本紙八頁）　（明治廿五年一月廿日郵便物認可）　明治二十九年二月十四日　第四千五百十六號　（定價金二錢五厘）

時事新報

時事新報

鐵道改良斷行す可し

此際に全國鐵道の仕組を改めて現在の狹軌道を廣軌道に一變す可しとは前號の紙上に我輩の勸告したる所なるが昨今世間の有樣を見れば改良の機會正に熟したるものゝ如し既に山陽鐵道會社の如きは東海道の官線を厚價にて拂受け全線を廣軌道複線と爲すの計畫にて其成功を五年間に期し引續き神戸より馬關に至る會社の線路をも同樣の仕組に改め車輛其他一切の用意も新奇完全のものを具へて其運用を敏活にし斯くて東京より馬關まで七百哩の間に廣軌鐵道を一貫して途中に接續乘換を要せず運力の如きも現在に倍加して直通敏行を期す可し云々の趣意を以て出願に及びたるに政府にては如何なる次第にや直に願書を却下したるよしなれども思ふに此事たる單に會社の發意に止まらず世間の一般に希望する所にして會社はたゞ〳〵其希望を代表したるまでのみとなれば若しも政府に於て其希望を容れ民間に一任するときは事の成就は必ず疑ふ可らず我輩は只實際の實行を望むものにして官業にても民業にても其進には全く頓着せざるみとなれば政府の意見にて民間に委ねて不安心とあれば須らく自から決斷して速に行ふ可し目下の機會を空ふして他日に後悔の種を遺すは斷じて取らざる所なり

兩軌道の利害得失は理論に於ても實際に於ても既に已に明白にして當局者と雖も仕組の改良に異論はなきみとならん只考ふ可きは費用の一點なれども民間に一任すれば其支出は必ず引受く可しと云ひ又政府にて自から着手と決するときは差當り償金の中より支辨するなり又は公債を募集して之に應ずるなり費用の出處に窮するみとはある可らず其方法は何れにしても差支なければ只事の決斷を望むのみ若しも目下の機會に斷ずるみと能はずして今日の僅に日一日を經過せんか日本の鐵道は次第に世界進歩の大勢に後れて今後數千哩の延長を見るも實際は數百哩の用を爲すに過ぎずして到底社會の發達に伴ふ能はず一般の人民はなす〳〵不便を感じて苦情百出始めて悔恨の曉には國中の線路、縱橫に延長して改良の容易ならざるを發見す可し愚の至りのみか現在の仕組にて最時の輸送に非常の不便を免れざるは一昨年來の經驗に明なる處なるに今後もしも一層重大の事件に際するみともゝらば如何にして其急に應ず可きや我輩の論に當つてはして切に斷行を望む所以なり政府既に斷行を決したるも議會に其事を具して之を議會に提出す可し若しも議會に於て問かるゝときは其責は全く議會に歸す可きものとなれば人民は更に議會に對して大に論ずる所あるべし政府の議會一日も猶豫す可きに非ざれば議會の開會は未だ遠きに在れども決せんみと我輩の敢て希望する所○

雜報

○戰・地・死・亡・者

十八年七月二十二日臺灣嶋基隆兵站病院に於て病死　宮城縣登米郡南方村
陸軍歩兵上等兵　千葉源之進
同年七月二十三日東京市嶋大孤山兵站病院より歸航途中高砂丸船中に於て病死　新潟縣中頸城郡軍嶋村
陸軍歩兵一等卒　廣瀨良作
同年七月二十五日東京市嶋大孤山兵站病院に於て病死　鳳凰城會安縣木柳村
同　管野熊吉
陸軍輜重輜卒　栃木忠重
同年八月二十七日同斷　同縣西白川郡五箇村
陸軍歩兵一等卒　高橋桃太郎
宮城縣牡鹿郡給井村　阿部庄吉
陸軍輜重輜卒　渡邊留吉
同年八月二十七日臺灣嶋基隆兵站病院に於て病死　同縣栗原郡金成村
陸軍歩兵一等軍曹　石川三次
同年八月二十七日同斷　臺北兵站病院に於て病死　青森縣上北郡六戸村
陸軍歩兵一等卒　高坂吉松
同年八月二十八日同斷　秋田縣北秋田郡大館會町
陸軍歩兵一等卒　宍戸宇吉
陸軍歩兵一等卒　石田彌壽治
同縣北閉伊郡宮古村　鳴香長助
同　同縣東蒲井郡吳玉村　金野悅之助
同年八月二十八日臺灣嶋中壢に於て病死　同縣同郡大原村
陸軍砲兵一等卒　渡邊留吉
同年八月二十八日遼東半嶋大孤山兵站病院に於て病死　宮城縣登米郡米川村
陸軍歩兵一等卒　藤本鶴吉
同年八月二十八日遼東半嶋金州兵站病院に於て病死　宮城縣登米郡米川村
同　首藤幸作
同年八月二十九日同斷　新潟縣北蒲原郡竹俣村
陸軍歩兵上等兵　小林宇七
同年八月二十九日遼東半嶋營口兵站病院に於て病死　宮城縣志田郡三本木村
輜重輜卒　高橋重吉
陸軍歩兵上等兵　高橋重吉
同年八月二十九日臺灣嶋臺北兵站病院に於て病死　山形縣東置賜郡上野村
陸軍歩兵一等卒　小野寺入重治
同年八月三十日遼東半嶋柳樹屯兵站病院に於て病死　新潟縣中蒲原郡横雲村
陸軍歩兵上等兵　小野寺五郎
同年八月三十日遼東半嶋柳樹屯兵站病院に於て病死　宮城縣黑川郡中新田村
陸軍歩兵一等卒　田村嗣歳
同　宮城縣栗原郡瀨峰村
陸軍砲兵一等卒　佐々木義助
同年八月三十日臺灣嶋臺北兵站病院に於て病死　秋田縣雄勝郡大川村
陸軍歩兵一等卒　芳賀儀藏
輜重輜卒　白川郡白河町　高畑長吉
同年八月三十日臺灣嶋臺北兵站病院に於て病死　秋田縣南秋田郡川崎村
陸軍歩兵一等卒　小松重助
同縣北秋田郡小阿仁村　高谷長一郎
同年八月三十日臺灣嶋臺北兵站病院に於て病死　秋田縣南秋田郡大川村
陸軍歩兵一等卒　藤嶋太吉
同年八月三十一日臺灣嶋臺北兵站病院に於て病死　秋田縣南秋田郡川崎村
陸軍歩兵一等卒　吉次郎
同年八月三十一日臺灣嶋臺北兵站病院に於て病死　秋田縣北秋田郡大館町
陸軍歩兵一等卒　小松重助
同縣北秋田郡小阿仁村　高谷長一郎
同年八月三十一日臺灣嶋臺北兵站病院に於て病死　秋田縣南秋田郡大川村
陸軍歩兵一等卒　佐々木駒吉
同年八月三十一日臺灣嶋臺北兵站病院に於て病死　秋田縣南秋田郡大川村
陸軍歩兵一等卒　大澤吉次郎
同年八月三十一日臺灣嶋臺北兵站病院に於て病死　秋田縣南秋田郡大川村
陸軍歩兵一等卒　佐々木駒吉
同年八月三十一日臺灣嶋臺北兵站病院に於て病死　秋田縣南秋田郡大川村
陸軍歩兵一等卒　佐々木駒吉
同年八月三十一日臺灣嶋臺北兵站病院に於て病死　秋田縣由利郡鳥海村
陸軍歩兵一等卒　佐藤次郎
同年八月三十一日臺灣嶋臺北兵站病院に於て病死　秋田縣由利郡鳥海村
陸軍歩兵一等卒　佐藤